

VOICE

— 北名古屋市議会 市政クラブ 会報 —

声を聞き、
声を届ける。



平成31年度への予算要望

特集

地震なんかに負けてたまるか

平成31年度

市政クラブの予算要望

市民の安心安全な暮らしを守るために

最小の費用で

最大の効果を発揮する

予算編成に向けて



市政クラブ会長

永津 正和

平成31年度予算編成にあたり、市政クラブとしましては、地域での活動を通して市民の皆様より寄せられた多くの声が街づくりに反映されるよう、ご意見・ご要望を集約し要望書に取りまとめました。市においては、安定した税収が見込めず、厳しい財政運営が行われていますが、市民が安心・安全に暮らせるとともに、福祉向上を目指し、少子高齢化にどう対処していくか等、将来を見据えた計画的な

予算配分を進めていただきたい。
市民が幸せに暮らせ、安定した施策を継続し、公共施設を始めとしたインフラの老朽化にも対応するには、さらなる歳入の確保が必要となつてきます。安定した税収の確保に向け、企業誘致等を積極的に推進していただきたい。



平成31年度の予算編成に向けて、市政クラブからの予算要望書を長瀬保市長に提出しました。

今回の紙面では市政クラブの予算要望書について解説とともにご紹介させていただきます。

なお紙面の都合上、すべてを掲載することはできませんでした。詳しくは市政クラブのウェブサイトをご覧ください。



<http://shisei-club.com/>

障害者の生活拠点となる グループホームの整備



少子高齢化が進む社会の中で、障害者においては重度化、高齢化が進み、そして介護者の高齢化による「親亡き後」の問題は、深刻で複雑となっています。

この問題は多岐に渡り解決には多角的視野で取り組まなければなりません。

我々市政クラブは、具体的な対応策として、北名古屋市知的障害者育成会の皆様の永年の願いでありますグループホームの整備が推進されるよう意見交換会を積み重ね、障害を抱える方やその家族が自分らしく地域で暮らすことのできる障害者の拠点機能を持った施設整備の実現を目指し、市へ要望してきたところです。

ようやく本年度、育成会の皆様と我々市政クラブの要望に対し、障害者の地域生活を支えるための「居住支援」と「日中活動支援」、「地域支援（体験の機会、緊急時の受入）」の一体的な機能を持ったグループホーム「日中サービス支援型グループ

ホーム」の整備が市で具体的に検討され、同じ問題を抱える近隣市町の清須市と豊山町との共同事業として、平成33（2021）年4月1日開所に向け踏み出しました。

特に受入が難しいとされている障害者の重度化・高齢化にも対応した日中、夜間一体的な支援が可能となるグループホームの整備等、今後も、地域のセーフティネットとしての役割を併せ持つグループホームの早期実現に向け全力で取り組んでいきます。



総務部会

総務常任委員会は北名古屋市に属する、総務部・財務部の調査を行い、議案、請願等を審査する部会です。

平成31年度予算編成にあたり、総務部会として、安定した税收の確保に努めるとともに、租税公平の原則に基づき、収納率の向上、滞納整理を迅速に行うよう、また、地域コミュニティの見直しを要望しました。

神田 薫 総務常任委員会委員長



渡邊幸子 市政クラブ幹事長



永津正和 市政クラブ会長

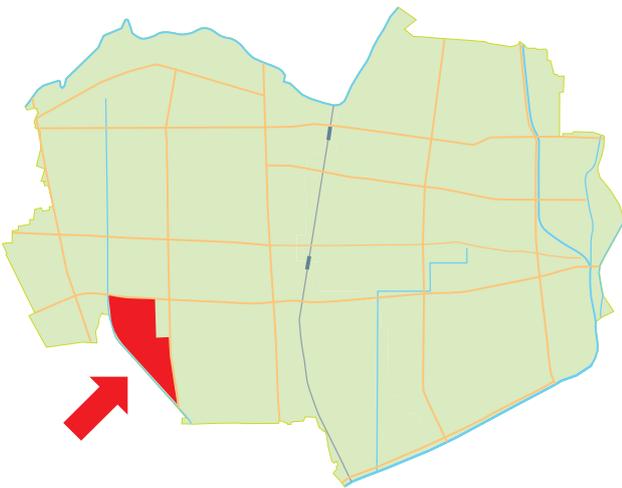


福岡 康 総務常任委員



企業誘致による税收確保

行政が各種施策を実現するには、元となる財源を確保する必要があります。現在の市の歳入は、国や県の各種補助金・地方交付税等であり、中でも地方税が大きな財源になっていますが、大きな事業や安定した施策を実施するには、さらなる歳入の確保が必要となってきます。安定した税收の確保に向け、企業誘致ならびに、県補助金などを活用し既存の市内立地企業の転出防止を行っていただきたい。



沖村六反周辺地区は北名古屋市の活力の維持・向上を図るため国道22号線・春日井稲沢線に近接する企業立地の適地として「開発を優先的に推進する区域」とされています。

収納率の向上

市民税、国民健康保険税の滞納、不納欠損は、租税公平の原則に反し、善良な納税者に不信感を招くことになる。ひいては市政の信頼をなくし、財政の逼迫化の要因となっている。全庁的な取り組みにより職員一丸となって、収納率の向上、滞納の迅速な回収対策等に対処されたい。

収納率の向上にむけ、コンビニ収納や口座振替の加入を引き続き促進するなど、納税者の納付機会を拡大し、納付しやすい環境づくりに努めていただきたい。



自治会の再編及び地域コミュニティの見直し

現在小学校校区と自治会の区割りの不一致による地縁団体の分断、ならびに自治会の規模の大小に起因する問題など自治会を取り巻く諸問題を解消すべく、小学校区を範囲とした新しいコミュニティの成立に向けての働きかけを推進されたい。また、併せて町名の変更を検討されたい。

自治会の再編に合わせて、災害時において自治会の集会施設は、避難所や自主防災会の活動拠点として利用が想定されるため、水害・地震などの災害の想定に対応できるよう、施設の構造、収容人数、及び適切な配置について検討されたい。



災害時相互応援協定市との協力体制の強化

災害時相互応援協定をしている各自治体との協力体制をより強化なものとするには、日ごろからの市民の草の根交流がカギとなることから、北名古屋市市民利用施設補助金の対象地域を、災害時相互応援協定を締結した全自治体へと拡大し、市民の相互交流ができるよう検討されたい。

現在、北名古屋市では6自治体と「災害時相互応援協定」を締結しています。



建設部会

建設常任委員会は北名古屋市に属する、防災環境部・建設部の調査を行い、議案、請願等を審査する部会です。

平成31年度予算編成にあたり、建設部会として、市民の安心・安全のために、各地で発生しているゲリラ豪雨に対する排水路の整備等、雨水対策を引き続き推進するとともに、都市計画道路及び各自治会から要望事項の整備促進、また、街の活性化に向けたイベント等の開催を要望しました。

沢田 哲 建設常任委員会委員長



大野 厚 市議会副議長



井上一男 建設常任委員会副委員長



熊澤真澄 市政クラブ政調会長



北名古屋市の活性化の推進

市の活性化にむけ、災害協定を結び毎年食の祭典「食べマルシェ」にも参加し交流も深まっている。北海道旭川市のイベントノウハウを参考に、地域の小売業や食品製造業の振興と販路拡大を図るとも、市外からも来場を促し、名古屋北部圏域の活性化を目指し、近隣からアクセスが容易な西春駅周辺において、北名古屋市版の食べマルシェのような祭典等を検討されたい。



▲毎年多くの人で賑わう旭川市の「食べマルシェ」



治水及び雨水対策

ゲリラ豪雨など集中豪雨が多発する現況下、通学路周辺の排水路の蓋や柵などの現状を調査し、雨水氾濫時の車両や歩行者の安全対策を早急に実施されたい。

市内の用排水路は昭和40年代に整備されたままであり、各家庭からの排水は直接流され汚れており、昔のようなきれいな水、生物が多く、美しい水田を取り戻すために、さらには住環境改善に向けて、下水整備をさらに加速し、用排水を分離されるよう図られたい。



▲環境改善のための下水道管新設（写真は北名古屋市長田寺）

都市基盤整備の推進

誰もが安全で快適に移動することができるように、歩道整備や段差をなくすバリアフリー化を進められたい。また、東西と南北方向への移動及び利便性を高めるため、都市計画道路の継続整備及び用水暗渠化整備の推進に努められたい。

各自治会からの土木関係要望事項について、緊急性を配慮して集中的に整備促進を図られたい。



交流拠点となる公園の整備

都市計画マスタープランで表明されている地域公園に相当する機能を有する市域の交流拠点となる3つの公園（健康ドーム周辺・文化勤労会館周辺・鹿田合田地区苗田）の整備計画を進め、災害時の広域避難場所的な多目的都市公園化を含めて早急に整備されたい。



▲北名古屋市長田寺健康ドーム周辺

福祉・教育部会

福祉教育常任委員会は北名古屋市に属する、市民健康部・教育部の調査を行い、議案、請願等を審査する部会です。

平成31年度予算編成にあたり、福祉・教育部会として、慢性的な入所待機者の解消として、新たな介護老人福祉施設の整備、小中学校校舎の雨漏れや外壁の汚れ、遊具などを調査し、適切な対応、和式から洋式トイレへの検討を要望しました。

浅利公恵

福祉教育常任委員会副委員長



桂川将典

監査委員



長瀬悟康

市議会議長



清水晃治

福祉教育常任委員



新たな介護老人福祉施設の整備

慢性的な入所待機者の解消と、高齢化の進展に伴い増加する要介護者の生活の場の確保が必要なため、二市一町合同で特別養護老人ホームの整備を進められたい。



老朽化保育園の早急な対応

施設の老朽化が進む保育園については、計画的な改修や修繕を進められたい。また、こどもに安全な環境を提供するため、児童福祉施設の整備計画(案)に基づき、整備を進められたい。



▲施設の老朽化が進む北名古屋市内の保育園

AEDの屋外設置

市内の公共施設のAEDは、主に管理の面等から施設内での使用を想定し、屋内に設置されていますが、夜間や閉館日においても広く市民が使用できるように、屋内から屋外への設置を検討されたい。



外トイレを含む

洋式トイレへの改修

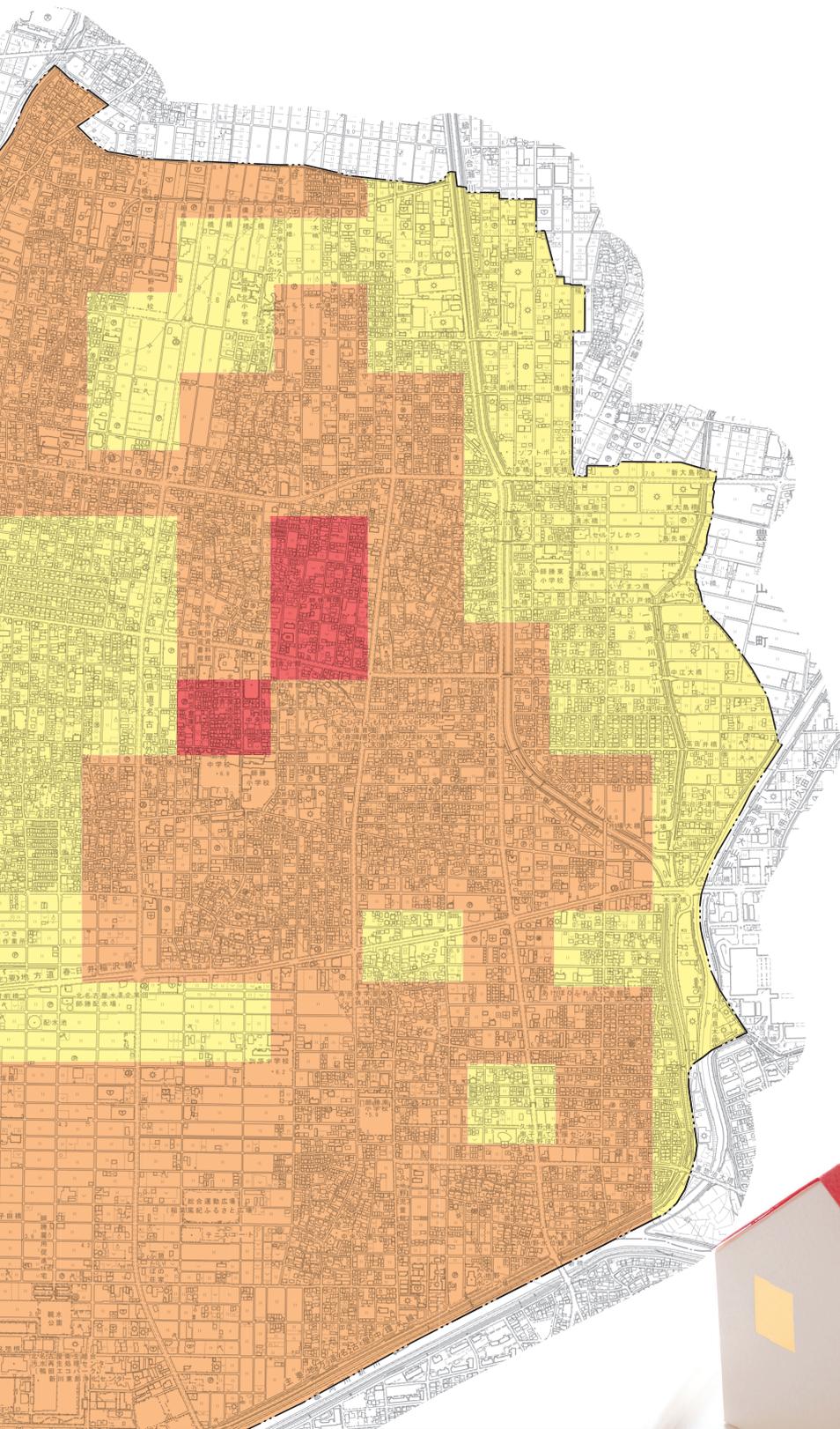
師勝中学校など、校舎内外の和式トイレ使用が困難な児童・生徒がみえ、便秘など健康面での不安者が多々発生しているため、児童・生徒の健康面を考慮され、各学校の洋式トイレへの改修を検討されたい。併せて避難所である体育館内へのトイレの設置を検討されたい。

また、歩行が困難な避難者への対応のため、トイレまでの経路には手すりを設けるなど、早急に適切な対応を講じていただきたい。



地震なんかに負けてたまるか 我が家の耐震は大丈夫？

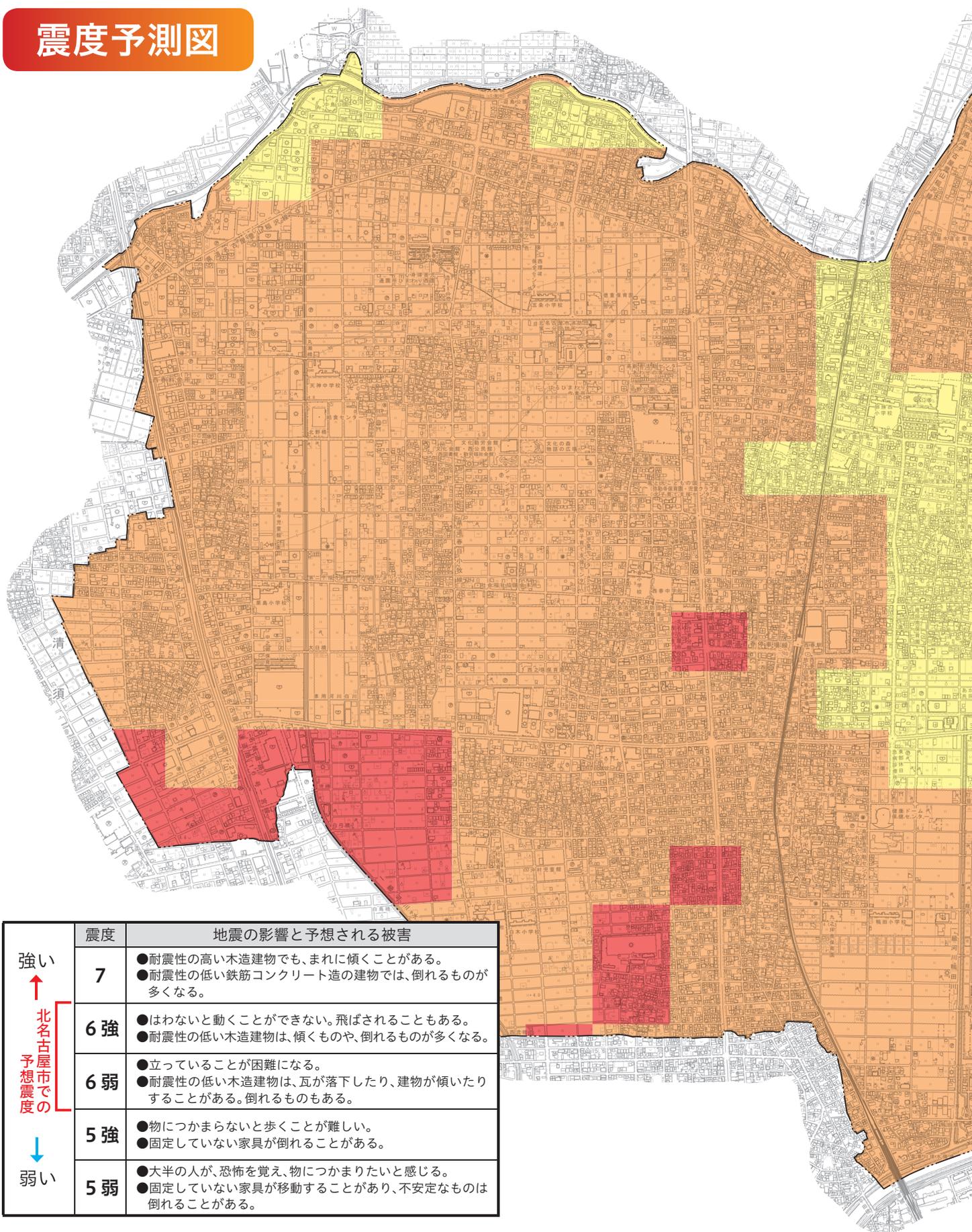
耐震診断はお済みですか？
まだの方は、施設管理課までご相談を



揺れ	震度	計測震度	
強い		6強	6.00以上、6.25未満
↑ ↓		6弱	5.75以上、6.00未満
弱い		6弱	5.50以上、5.75未満



震度予測図



地震が起きる前に 命を守るために備えたいこと

市政クラブでは、熊本地震・鳥取県中部地震の被災地である熊本市（熊本県）、倉吉市（鳥取県）の現地視察を行い、震災後の対応（初期活動・復興状況）の生の声を伺いました。どのようにしたら震災から身を守ることができるか、被害を最小限にするには、どう対策したらいいかなど調査しています。

本編は調査を踏まえ、市の防災計画等を参考にしつつ、今出来る事についてまとめました。

まずは自宅を耐震補強し、備蓄品をそなえ、住み慣れた自宅避難を推奨します。

自宅の脱出ルートを考える

自宅避難がままならず、避難所に避難するためには、まず自宅から安全に脱出する必要があります。事前に自宅の脱出ルートを考えておきましょう。

□地震により、玄関が開かないなどが考えられるので、自宅から外への避難経路は複数のルートを考えておきましょう。

□脱出通路に障害になるものを置かないようにしましょう。

□2階などからの脱出用に避難はしごを用意しておきましょう。

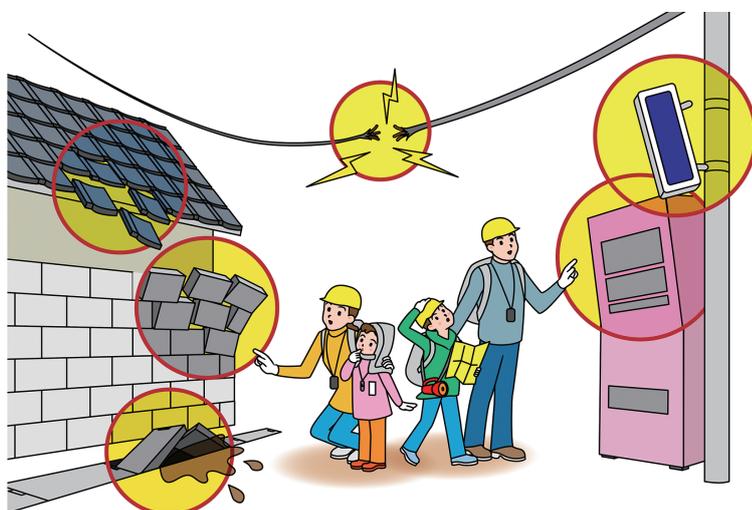
避難経路を確認する

自宅から避難所までのルートを事前に確認しておきましょう。

□地震時は、自宅から避難所までの道のは、普段と違い通行できない場合もあることを知っておきましょう。

□実際に歩いてみるなど危険箇所を把握し安全なルートを確認しておきましょう。

□具体的に自宅から避難所までのマップを描き、危険箇所や避難時に役立つ情報等を書き込むなどしておきましょう。



備蓄品を備えよう

地震が発生すると普段どおりの生活ができなくなる事も考えられます。数日間生活ができるだけの『備蓄品』を備えておきます。

□目安として最低3日間程度の水や食料品を備蓄します。

□家族構成、住居や地域の特性によって必要となるものは異なります。自分や家族にとって本当に必要なものを考えて備蓄します。

□家族、地域の状況や消費期限などと照らし合わせて定期的にチェックし、必要に応じて入れ替えます。



非常持出品(袋)を準備しよう

地震の被害によっては、避難を余儀なくされることもあります。避難する時に持ち出す『非常持出品(袋)』を準備しておきます。

□非常持出品は、備蓄品の中から、避難生活に必要なものを選びます。備蓄品にない場合は、必要に応じて準備します。

□玄関や寝室など持ち出しやすいところに置いておき、直ぐに持ちだせるようにしておきます。背負える袋などに入れておけば両手が使えて便利です。

家具の配置を工夫する

家具などの配置を工夫することも有効です。まずは手軽にできることから始めましょう。

□寝室や子ども・高齢者の部屋、出入り口付近にはできるだけ背の高い家具は置かないようにしましょう。

□就寝位置を家具から離したり、転倒しにくい側方とするとといった方法も考えられます。

□重量のある家電製品はできるだけ低い位置に置くようにしましょう。

家具の転倒を防止

建物が無事でも、家具などが転倒すると、下敷きになってケガをしたり、避難経路を塞いだりします。

□タンスや棚はL型金具などで壁の棧や柱に固定しましょう。

□引き出しや観音開きの扉にはストッパーなどを取り付け、中身が飛び出さないようにしておきましょう。

□扉がガラスの場合はガラス飛散防止フィルムを貼っておきましょう。

□吊り下げ式の照明器具は複数のチェーンを使い数箇所を天井に止め、固定します。

□蛍光灯や電球は、割れても飛び散りにくい飛散防止が施されたものに取り替えましょう。



地震にあったら どう身を守るか

― 屋内編 ―

自宅での基本的事項

丈夫な机やテーブルなどの下にもぐり、机などの脚をしっかりと握りましょう。

□突然大きな揺れに襲われたときは、まずは自分の身を安全に守れるように心がけましょう。



□棚や棚に乗せてあるもの、テレビなどが飛んできたり、落ちてきたりするので、揺れが収まるのを待ちましょう。

□戸を開けて、出入り口の確保をしましょう。

□慌てて戸外に飛び出さないようにしましょう。

□無理して火を消しに行く調理器具が落ちてきて火傷などをしたりするので、揺れが収まるまで待ちましょう。

□食器棚や冷蔵庫が倒れてくるだけでなく、中身が飛び出してくることもあるので注意しましょう。

寝ている時

揺れで目覚めたら寝具にもぐり込むか、ベッドの下に入れる場合はベッドの下に入り身の安全を確保しましょう。

□暗闇では、割れた窓ガラスや照明器具の破片でケガをしやすいので注意しましょう。

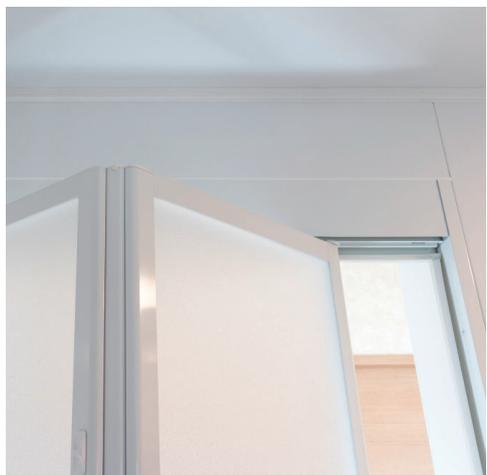
□枕元には、厚手の靴下やスリッパ、懐中電灯、携帯ラジオなどを置いておき、避難が出来る準備をしておきましょう。

□寝室には、倒れそうなものを置かないようにし、頭の上にもものが落ちてこない所に寝ましょう。

トイレ・浴室

揺れを感じたらまずドアを開け、避難路を確保し揺れが収まるのを待ちましょう。

□入浴中は鏡やガラスの破損によるけがに注意しましょう。



― 屋外編 ―

オフィス街・繁華街

ビルが立ち並ぶオフィス街や繁華街では、窓ガラスや外壁、看板などが落下してくる危険性があり十分注意しましょう。

□エレベーターに乗っている際に揺れを感じたら、全ての階のボタンを押し、最初に停止した階で降りるのが原則です。しかし停止した階で慌てて降りるのはなく、階の状況を見極めるのも大切です。



住宅地

強い揺れに襲われると、住宅地の路上には落下物や倒壊物があふれます。

□住宅地の路地にあるブロック壁や石壁は、強い揺れで倒れる危険があります。揺れを感じたら壁から離れましょう。

□電柱や自動販売機も倒れてくる可能性がありますので、そばから離れましょう。

□屋根瓦や二階建て以上の住宅のベランダに置かれているエアコンの室外機、ガーデニング用のプランターなどが落下してくる可能性があります。頭上も注意しましょう。

□強い揺れが起きると、耐震性能の低い住宅が倒壊する場合があります。これにより瓦礫や窓ガラスが道路内に散乱する可能性もありますので、揺れを感じたら周辺の状況に注意しましょう。



車を運転中

□急ブレーキは禁物です。ハンドルをしっかり握り、前後の車に注意しながら徐々にスピードを落とし、道路の左側に停車します。

□エンジンを切り、揺れが収まるまでは車外に出ず、ラジオ等から情報を入ります。

□避難の必要がある場合は、車のキーは付けたままにし、ドアをロックしないで、窓を閉めます。

□車での避難は、緊急自動車などの妨げになりますのでやめましょう。



市政クラブ所属議員



永津 正和 ながつまさかず

熊之庄城ノ屋敷3015
TEL 21-2565
平成30年度 市政クラブ 会長
平成29年度 議長
平成28年度 市政クラブ 会長



渡邊 幸子 わたなべさちこ

片場白山30-2
TEL 25-5998
平成30年度 市政クラブ 幹事長
平成29年度 福祉教育常任委員会 副委員長
平成28年度 副議長



熊澤 真澄 くまざわますみ

井瀬木1029
TEL 21-3492
平成30年度 市政クラブ 政調会長
平成30年度 建設常任委員
平成30年度 議会運営委員



長瀬 悟康 ながせのりやす

能田旭5-1
TEL 21-2375
平成30年度 議長
平成29年度 市政クラブ 会長
平成28年度 福祉教育常任委員会 委員長



大野 厚 おおのあつし

六ツ師471
TEL 21-3456
平成30年度 副議長
平成30年度 広報委員会 委員長
平成27年度 建設常任委員会 委員長



桂川 将典 かづらがわまさのり

鹿田坂巻153 サニーヒルズ坂巻201
TEL 090-8532-6156
平成30年度 監査委員
平成29年度 副議長
平成28年度 市政クラブ 幹事長



神田 薫 かんだかおる

高田寺1600-81
TEL 25-5866
平成30年度 総務常任委員会 委員長
平成29年度 総務常任委員会 委員長
平成27年度 市政クラブ 幹事長



沢田 哲 さわださとし

鹿田坂巻234
TEL 22-6464
平成30年度 建設常任委員会 委員長
平成29年度 市政クラブ 幹事長
平成28年度 議長



福岡 康 ふくおかやすし

北野神明前60
TEL 22-4793
平成30年度 総務常任委員
平成30年度 予算決算常任委員
平成30年度 鉄道連続立体交差事業等検討特別委員



井上 一男 いのうえかずお

九之坪上吉田62
TEL 23-8968
平成30年度 建設常任委員会 副委員長
平成30年度 鉄道連続立体交差事業等
検討特別委員会 副委員長



浅利 公恵 あさりきみえ

六ツ師松戸2
TEL 23-2210
平成30年度 福祉教育常任委員会 副委員長
平成30年度 予算決算常任委員
平成30年度 鉄道連続立体交差事業等検討特別委員



清水 晃治 しみずこうじ

鹿田新宮境内附364-1
TEL 24-1451
平成30年度 福祉教育常任委員
平成30年度 予算決算常任委員
平成30年度 鉄道連続立体交差事業等検討特別委員

編集後記

政調会長 熊澤真澄

昨年は、全国各地で災害が多く発生しており、この地域においても数十年のうちに、震度6強・6弱の地震の発生が予想されております。今回は地震に焦点を当て、「地震なんかになんか負けてたまるか」と題して、地震が起きる前に、命を守るために備えたいことについて、特集しました。

耐震のある建物でも、家具の転倒等によりケガをされないために、今できることを行っていただきたく掲載しました。我々市政クラブは、震災が発生した各地域の初期活動および復興状況を視察し、北名古屋に足りない所など、行政に提言しています。しかし行政だけでは対応に限度があり、最終的には、いつ起きるかわからない災害に対し、市民ひとりひとりが、自分の身は自分で守ることが必要と感じております。

また、いざ災害には、各家庭で備蓄品を用意し自宅避難をお勧めします。そのためには、我が家の耐震状況の確認をしていただき安心安全を守っていただきますよう推進していきます。

これからも、市民の皆様のご期待にこたえるべく、地域での活動を通して多くのご意見をお聞きし、市に提言・要望してまいります。

市政クラブは、これからもより多くのご意見をいただくため地域に出向きますので、よろしくお願いたします。

皆様のご意見、ご感想をお聞かせ下さい info@shisei-club.com

この小冊子は政務活動費を活用して印刷・配布されています。